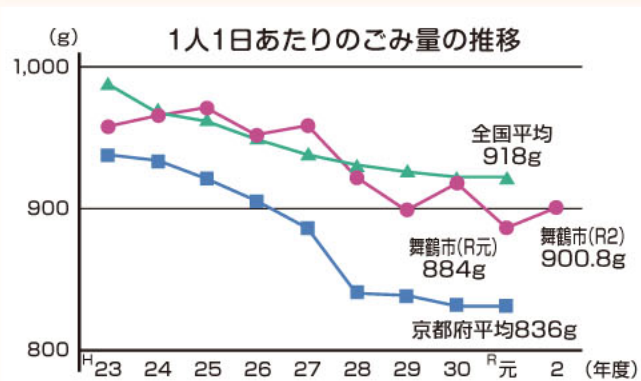


どうしてごみの減量が必要なの？

舞鶴市の1人1日あたりのごみ量の状況

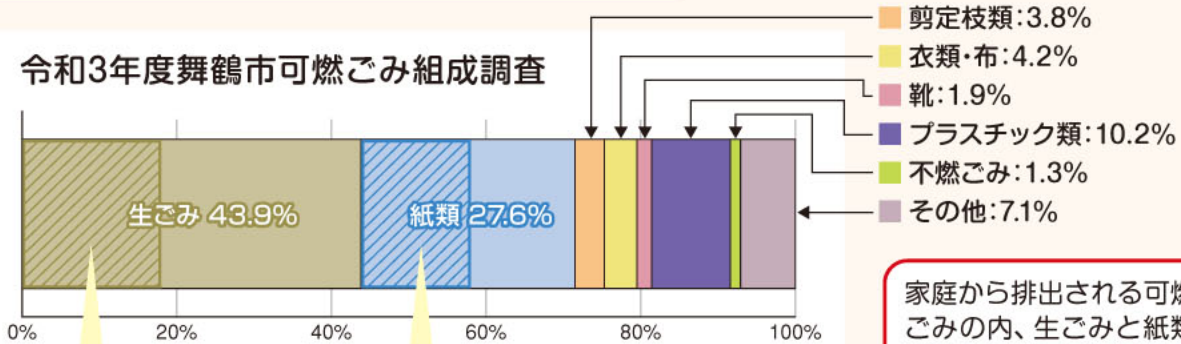
市民の皆様が1人1日あたりで排出するごみの量は年々少なくなっていますが、まだまだ減量の余地があります。国では、令和7年には1人1日あたりのごみ量を850グラムまで減らすことを目標にしています。

舞鶴市では1人1日あたりのごみ量はゆるやかな減少傾向にあるものの、京都府平均と比較すると多く、府内15市中、13番目となっています。



家庭から排出される可燃ごみの内訳

令和3年度舞鶴市可燃ごみ組成調査



生ごみとして排出されたものの約40%が食品ロス

可燃ごみとして排出された紙ごみの約50%がリサイクル可能な紙類(ダンボール、新聞紙、その他の紙)

家庭から排出される可燃ごみの内、生ごみと紙類が約70%を占めているんだ。



もったいない! 食品ロス!

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことを言います。



食品を廃棄することは、食品がごみになるという問題だけではなく、生産で使用した水や肥料、輸送時のエネルギーも無駄になってしまいます。

紙類は分別して資源に!

可燃ごみとして排出された紙ごみには、資源化可能な紙がまだまだ多く排出されています。



お菓子の箱やメモ用紙もリサイクル可能。分別すればごみの減量にもなります。

可燃ごみ

古紙
拠点回収

清掃
事務所

ペットボトル・
プラスチック
容器包装

その他の
不燃ごみ

リサイクル
プラザ

粗大ごみ

引き取り
出来ないごみ
補助制度

清掃活動支援
手数料の
使い道

舞鶴市の
ごみの状況

事業者の
皆様へ

ごみ収集
カレンダー

ごみ分別例
一覧